

我が国幼児教育界の偉大なる先駆者、倉橋惣三先生珠玉の論集

倉橋惣三選集

第四卷発売

本選集三巻までは、著者倉橋惣三先生自身の手によってまとめられたものを収載したが、この第四巻では著者が長年にわたって諸種の刊行物に印刷発表されたものの中から選択して一書とした。

〈第四巻の主な内容〉

「保育案」 保育案の変遷・保育案の立て方

「短言（戦前）」 子どものための人形・窓・この秋・

幼児の絵とその解説・幼児と共にいる者の心づくし 他

「戦中小編」 保母諸君と語る・おもちゃ大学・隣組幼

稚園・遠足幼稚園 他

「戦後小編」 小問答「とんでもない」・保育の味・子

どもらといっしょに秋をあるく・先生方のマナー 他

「論説」 彼らもまた美を求む・幼稚園の新使命・童話

教育の使命・幼児期の教育総説 他

「実際編」 系統的保育案の解説・幼稚園でしているこ

と・幼稚園の生活形態・保育案と生活計画 他

「初期の著作」 新しき心・一葉女史の小説に現われた

る子供・子供のうそ 他

「作詞・書簡・揮毫」 アメリカ便り 他

東山 魁夷 装幀・題字

B 6判 458 頁
特製本ケース入
定価 700 円

編集委員

坂元彦太郎・及川ふみ・津守 真

既刊内容 各七〇〇円

第一巻 410 頁
「幼稚園真諦」
「子供讃歌」
「フレール」
年譜

・「幼稚園真諦」は、名著として愛読されてきた幼児教育の根底をつく論集。「幼稚園保育法」「保育案の実際」「保育課程の実際」からなる。
・「子供讃歌」は、幼児教育における著者みずからの足跡を、理想と反省を交えて書かれた自伝。
・「フレール」は、幼稚園の創始者フレールの人とその理論を解明し論評したもの。

・「幼稚園雑草」は、みずから園丁と任じた著者が「幼児の教育」誌に執筆した種々の評論や随想などを収めたものです。
……題して幼稚園雑草という。実にその通り雑草である。花としても飾るに足らず、果実としても滋味あるものではない。ただ雑草も枯れて後、土地の肥料になることもあるものだということを聞いて、小さい望みとしてるのである。(初版の序より)

・「育ての心」は「子どもたちの中にいて」「母ものがたり」「子どもと癖しらべ」「名画の子ども」など珠玉の断想集です。
・「就学前教育」は、岩波講座の一巻として発表された幼児教育論。就学前教育の創始から推移、我が国の就学前教育、就学前教育の本義にまでわたって述べてあります。

第二巻 444 頁
「幼稚園雑草」
幼稚園雑草の後に
著述目録

第三巻 468 頁
「育ての心」
「就学前教育」
遺録
補述目録